

千曲川・犀川流域(緊急対応)
タイムライン検討部会について(報告)

千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン
運用基準の見直し及び
出水期振り返りアンケート結果について

1. アンケート概要

- 令和2年度から試行運用を開始している「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインについて3カ年度運用してきたところ。
- 過年度からの運用上の課題に対して、改善を行うべく事務局にて整理した「運用要領の見直し案」について意見照会
- そのほか、構成機関の皆様が持つ、課題や意見について、令和4年度の運用を踏まえた振り返りを実施

1. アンケート期間

令和5年2月9日(木)～令和5年2月22日(水)

2. アンケート内容

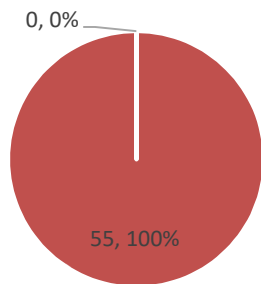
- ① 運用要領の見直し(案)に関する意見
- ② 流域タイムライン運用会議参加に関する良かった点、改善点等について
- ③ 令和4年9月23日(金・祝)に開催した運用会議について
 - 1) 休日参加に関する負担感について
 - 2) 休日参加に関する負担感解消のためのアイデアについて
- ④ そのほか、全般を通してのご意見

3. 回答結果

55機関/93機関 より回答あり

2. アンケート結果 ※回答を一部抜粋

1. 運用要領見直し(案)について



■意見あり ■意見なし



特段のご意見はございませんでした

2. 運用会議参加に関する良かった点、改善点等について

良かった点

- ・市の防災対応を決める上で、今後の気象情報について専門家等から詳しい解説が聞けたのが有益だった。
- ・他機関との円滑かつタイムリーな情報共有ができるのは有益。

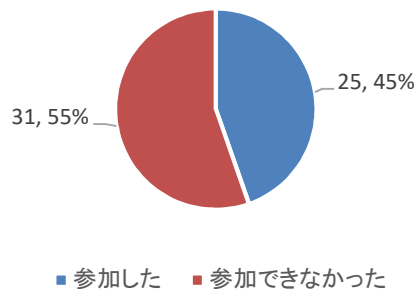
改善点等

- ・休日に運用会議を開催する可能性がある場合には、平日に事前連絡をいただけるとありがたかった。
- ・流域警戒ステージの移行の際は、理由、根拠を明確にしてほしい。
- ・2022年6月21日に実施した、タイムライン演習を継続実施して頂きたい。
- ・ステージの設定・移行については、専門家等に意見を伺い、条件に当てはまれば、会議に諮るまでもなく設定しても良い気がする。
- ・・・そのほか、危険な地域の特定、想定される出水規模感の特定等に関するご意見をいただきました。

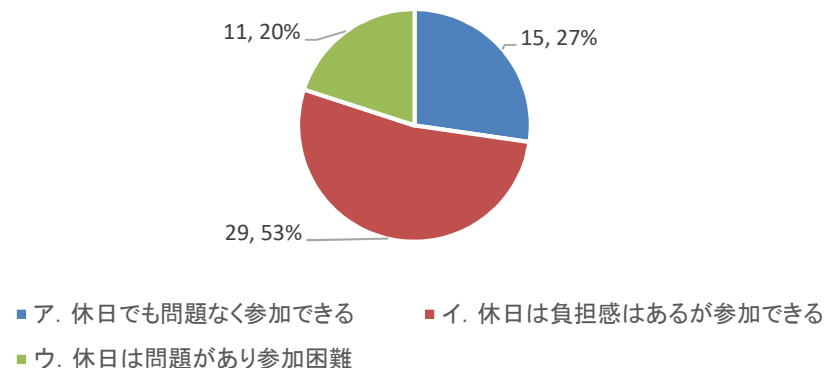
2. アンケート結果

3. 令和4年9月23日(金・祝)に開催した運用会議について

令和4年9月23日(金・祝)のタイムライン第1回
運用会議に参加したか



今後の休日の運用会議開催について



休日参加に対するご意見

- ・休日前の情報において運用会議の可能性が示唆されれば、対応は可能と考えている。
 - ・社内にて誰が対応するか決めていたので対応できた。早めに開催の情報があれば対応可能。
 - ・休日など、外出先などで参加できるような会議形式の工夫(スマートフォンなどを利用)
 - ・不在の時に携帯メールの活用で、急な会議となってもスマホ等で会議に参加できる。
 - ・運用会議へリアルタイムで参加できなかった場合、いつでも録画された運用会議をネット上で見ることができる環境があれば、完全な不参加が少なくなり情報共有が多くの方に図られるのではないか。
- ・・・そのほか、ハードソフト両面での体制上の問題、開催案内通知に関するツールの改良に関するご意見をいただきました。

2. アンケート結果

4. そのほか、全般を通してのご意見

- ・年度の変わり目・担当の変わり目でうまく引き継いでいけるかという問題もあることから、年度初めの減災対策協議会などで、周知したり、定期的な訓練など実施するのがよろしいかと思われる。
- ・各グループのレベルごと行動内容の見直し(ダム事前放流開始など)
- ・各ステージごとに、自機関が行うべき対応を整理してあったため、初動の行動を迷いなく実行できたものと考えます。
休日の運用会議開催は、担当職員が参集(あるいは在宅PCにて参加)しにくい場合があるため、今後の工夫が必要と考えております。
- ・自宅でもアクセスが容易な河川事務所HPに、会議開催予定やタイムラインの運用開始、ステージを掲載願いたい。
- ・開催通知は、市役所メールに届いていたため、開催したこと自体、休み明けに分かった。こうした通知漏れをなくすためにも、個人メールへも連絡していただきたい。



- 休日の運用会議となりそうな場合、できる限り平日に開催連絡を実施
 - ステージ移行時のメール配信等における理由等の明確化
 - 運用会議の録画配信及び開催通知のより良い伝達方法等を検討
 - タイムライン演習の継続的な実施、連絡先の切れ目・抜け目ない更新
 - 防災行動内容の拡充・見直しを逐次進めることで、より充実したタイムラインに
- ➡ 流域タイムラインの更なる拡充・円滑な活用に引き続きご理解とご協力をお願いします。

資料5

R5.2.9アンケート時資料を添付

千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインの
運用基準の見直し(案)について

流域タイムラインの概要及び運用実績

- 千曲川流域に着目した「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」を、令和2年9月より試験運用を開始
- 流域タイムラインを円滑に運営するためのツール「情報共有プラットフォーム」を開設し、各機関の状況を共有
- 構成機関が一堂に会した「運用会議」を開催し、流域全体で危機感を共有し早期の対応を実施できる体制を構築

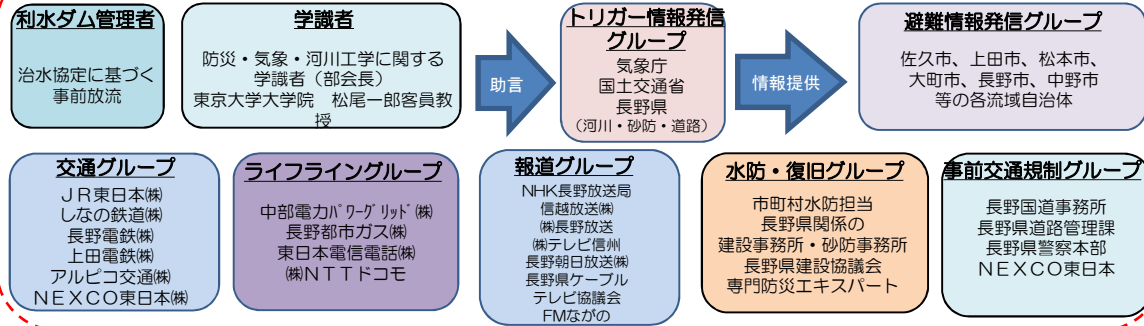
【運用会議実施状況】※令和4年12月現在

令和2年度：2回
 令和3年度：7回
 令和4年度：4回 **計13回**

(代表例) 令和3年8月出水(前線性降雨)

- ①8月12日 流域警戒ステージⅡに移行を決定
- ②8月13日 流域警戒ステージⅢに移行を決定
- ③8月16日 翌17日からの再度の大雨に対する危機感共有
- ④8月17日 降雨状況・見込みの共有

運用会議(TV会議)千曲川河川事務所・長野県危機管理防災課主催



WEB会議



各構成機関

千曲川河川事務所



千曲川・犀川流域緊急対応タイムライン
 情報共有プラットフォーム

流域警戒ステージの区分・目標

時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意識した防災対応を実施する

○情報共有プラットフォームの円滑活用のための洪水対応演習を実施

【構成機関からの意見】

- ・他機関の状況を確認でき、かつ自機関の行動も伝えられる有効なツール
- ・実災害前の流域警戒ステージⅠ～Ⅲの時に、情報を共有できてよい。
- ・定期的な演習を行い、出水期に備えられるようにしてほしい。

概要

- 令和2年度より「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」の試行運用を行うなかで、以下の運用上の課題が顕在化：

特に前線性洪水では、流域警戒ステージⅠ・Ⅱについて、適切なタイミングで早期の危機感共有が困難

- この課題を解決するため、過去の出水対応の振り返りを行い、「運用基準」の見直し案を整理した

<運用基準の見直しのポイント>

- ①「流域警戒ステージⅠ基準」については、より柔軟な対応が可能となるよう見直した。
(特に、前線性洪水では、ST1の設定が困難であることから、時によっては、ST1の見送り、ST2からの発動を許容する運用も想定)
- ②土休日にかかる流域タイムライン運用会議への参加・運営の負担を軽減。

運用基準の見直し案

- ① 流域警戒ステージ I 基準: より柔軟な対応が可能となるよう見直し
(特に、前線性洪水では、ST1の設定が困難であることから、時によっては、ST1の見送り、ST2からの発動を許容する運用も想定)
- ② 土休日にかかる流域タイムライン運用会議への参加・運営の負担を軽減

現行基準

時期区分	タイミング
流域警戒ステージ I	<ul style="list-style-type: none"> ■台風 事務局で設定する台風警戒区域に台風5~3日先予報円の一部分が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時 ■前線 梅雨入り後、早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時 ■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合
流域警戒ステージ II	<ul style="list-style-type: none"> ■台風 台風説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時 ■前線 大雨説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時 ■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合
流域警戒ステージ III	MSM39時間先流域平均雨量予測を基に流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想された時、または、学識者からの助言があった場合
流域警戒ステージ IV	上流域等で水防団待機水位に到達した時

改正基準案 (赤字箇所を追記)

時期区分	タイミング
流域警戒ステージ I (概ね 3~5日前)	<ul style="list-style-type: none"> ■台風 事務局で設定する台風警戒区域に台風5~3日先予報円の一部分が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時。 ■前線 梅雨入り後、早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時 ■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合、または調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時
流域警戒ステージ II (概ね 2日前)	<ul style="list-style-type: none"> ■台風 台風説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時 ■前線 大雨説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時 ■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合、または調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時
流域警戒ステージ III (概ね 1日前)	MSM39時間先流域平均雨量予測を基に流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想された時、または、学識者からの助言があった場合、及び調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時
流域警戒ステージ IV	上流域等で水防団待機水位に到達した時

※場合によっては、流域警戒ステージ II 以上からのタイムライン発動があることに留意
 ※土休日に運用会議を開催する場合、メールにてステージ移行を連絡することがある